

総会・評議員会

■日時：12月1日（火） 8：00～8：40

■会場：第2会場（東京ドームホテル B1F 天空センター）

※ECC 奨励賞授賞者発表予定

第12回日本エイズ学会 学会賞(日本エイズ学会シミック賞)授賞式、受賞講演 第16回日本エイズ学会 ECC 山口メモリアルエイズ研究奨励賞授賞式

■日時：12月1日（火） 13：20～13：40

■会場：第2会場（東京ドームホテル B1F 天空センター）

市民公開講座

■日時：11月29日（日） 12：45～14：15

■会場：国立国際医療研究センター 国際医療協力研修センター 5F 大会議室

市民公開講座

HIV 陽性者とメンタルヘルス～
薬物使用は生き辛さの現れか？

座長

樽井正義（研究代表者
ぶれいす東京/慶應義塾大学）

平成27年度厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策政策研究推進事業）研究成果等普及啓発事業

「地域において HIV 陽性者と薬物使用者を支援する研究」研究班 研究成果発表会

■演者：

1 HIV 陽性者や周囲の人から寄せられる
相談内容と薬物使用

生島 嗣
ぶれいす東京

2 HIV 陽性者の健康と生活調査からの
報告

若林チヒロ
埼玉県立大学保健医療福祉学部

3 Futures Japan 調査での薬物使用と
心の健康と「生きる力」

井上洋士
放送大学

4 薬物依存症クリニックの受診者と治療
実践

肥田 明日香
アパクリニック

共催：公益財団法人エイズ予防財団

Opening Session

■日時：11月29日（日） 17:00~17:50

■会場：国立国際医療研究センター 国際医療協力研修センター 5F 大会議室 ※事前登録が必要です

Opening Session 1

座長 岡 慎一（国立国際医療研究センター
エイズ治療・研究開発センター）

■演者：

OP1 Long-Acting PrEP Agents in HIV Prevention

David D. Ho

Aaron Diamond AIDS Research Center
The Rockefeller University, USA

■日時：11月29日（日） 18:10~19:00

■会場：国立国際医療研究センター 国際医療協力研修センター 5F 大会議室 ※事前登録が必要です

Opening Session 2

座長 湯永博之（国立国際医療研究センター
エイズ治療・研究開発センター）

■演者：

OP2 An Editor's Insights into Writing a Scientific Paper

Stuart Spencer

Lancet, UK

Plenary Lecture

■日時：11月30日（月） 13：20～14：10

■会場：第2会場（東京ドームホテル B1F 天空センター） ※同時通訳有り

Plenary Lecture 1

座長

満屋裕明（熊本大学医学部血液内科・感染免疫診療部/
国立国際医療研究センター臨床研究センター/
National Institutes of Health）
岡 慎一（国立国際医療研究センター
エイズ治療・研究開発センター）

■演者：

PL1 Innovations in Nucleoside/Nucleotide Research Leading to Advances in Antiviral Therapy

John C. Martin

Gilead Sciences, Inc., USA

■日時：11月30日（月） 14：10～15：00

■会場：第2会場（東京ドームホテル B1F 天空センター） ※同時通訳有り

Plenary Lecture 2

座長

松下修三（熊本大学エイズ学研究センター）
岡 慎一（国立国際医療研究センター
エイズ治療・研究開発センター）

■演者：

PL2 Prevention of HIV Infection in 2016 and Beyond

Myron S. Cohen

University of North Carolina, USA

基調講演

■日時：11月30日（月） 15：30～16：00

■会場：第4会場（東京ドームホテル B1F シンシアノース）

基調講演

座長 木村 哲（東京医療保健大学）

■演者：

Role of World Health Organization Towards Ending AIDS Endemics

Hiroki Nakatani

Keio University

WHO/NCGM/NIH workshop

■日時：11月30日(月) 16:00~18:30

■会場：第4会場(東京ドームホテル B1F シンシアノース)

WHO/NCGM/NIH
workshop

Advancing imple-
mentation research
on HIV/AIDS in Asia

Organizer

Ying-Ru Lo (WHO Regional Office for the
Western Pacific)

【Session 1: Key populations】

■Chair: Wafaa El-Sadr (Columbia University)

- 1 Translating research to imple-
mentation: The role of WHO in
Asia
Ying-Ru Lo
WHO Regional Office for the Western Pacific
- 2 The treatment cascade: What
does it take to monitor and evalu-
ate impact of test and treat?
David Cooper
Kirby Institute, Australia
- 3 Moving towards community-
based test and treat and PrEP
service delivery:
Thailand perspective
Praphan Phanuphak
Thai Red Cross, AIDS Research Center and Inform
Asia, Thailand
- 4 Test, treat, and prevent HIV
implementation science study
among MSM and transgender
women
Michael Martin
U.S. CDC Thailand
- 5 Integrated treatment and preven-
tion for people who inject drugs:
A vanguard study in Indonesia,
Ukraine and Viet Nam (HPTN
074)
William Miller
University of North Carolina, USA
- 6 Interventions in prison for people
living with HIV in Malaysia
Adeeba Kamarulzunam
University of Malaya, Malaysia

【Session 2: Using implementation science】

■Chair: Ying-Ru Lo (WHO Regional Office for the Western Pacific)

- 1 Enhanced test, link to care, plus
treat approach for HIV prevention
in the United States (HPTN 065)
Wafaa El-Sadr
Columbia University, USA
- 2 A community randomized trial of
universal test and treat in Zambia
and South Africa (HPTN 071)
Christophe Fraser
Imperial College, United Kingdom
- 3 Using molecular phylogenetics to
assess HIV transmission and
prevention
Thomas Quinn
Johns Hopkins University, USA
- 4 Using implementation science
research for scaling up HIV
services in India
Raman Gangakhedkar
National AIDS Research Institute, India

シンポジウム

■日時：11月30日(月) 17:30~19:00

■会場：第1会場(東京ドームホテル B1F 天空ノース)

シンポジウム 1 (基礎)	ウイルス変化	座長	塩田達雄 (大阪大学微生物病研究所 ウイルス感染制御分野) 滝口雅文 (熊本大学エイズ学研究センター)
-------------------------	--------	----	---

■演者：

S1-1 Impact of genetic and functional changes in HIV-1 and SIVcpz transmission

小柳義夫

京都大学ウイルス研究所ヒトレトロウイルス研究施設・
ウイルス病態研究領域

S1-2 HIV-1 の変異と適応：
サル指向性 HIV-1 構築の視点から

野間口雅子

徳島大学大学院医歯薬学研究部微生物病原学分野

S1-3 HIV-1 Vif による APOBEC3 分解機
序から考察されるウイルスの巧み適応
戦略

岩谷靖雅

名古屋医療センター臨床研究センター感染症研究室

追加発言 松井佑亮

京都大学医学研究科内科学講座血液・腫瘍内科学

S1-4 Nef に対する免疫淘汰圧と機能および
病態

上野貴将

熊本大学エイズ学研究センター
熊本大学国際先端医学研究拠点

追加発言 村越勇人

熊本大学エイズ学研究センター

追加発言 近田貴敬

熊本大学エイズ学研究センター

■日時：11月30日(月) 17:30~19:00

■会場：第2会場(東京ドームホテル B1F 天空センター)

シンポジウム 2 (臨床) 認定講習会(医師)	日和見感染症と悪性腫瘍の マネジメント	座長	照屋勝治 (国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター) 今村顕史 (がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科)
--------------------------------------	------------------------	----	--

■演者：

S2-1 HIV 感染症における非エイズ悪性腫瘍
加藤哲朗

東京慈恵会医科大学附属病院感染制御部

S2-2 HIV 関連日和見疾患の診療のポイント
今村顕史

がん・感染症センター都立駒込病院感染症科

S2-3 ケーススタディ (1)
ニューモシスチス肺炎 (PCP) の
診断と治療

照屋勝治

国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

S2-4 ケーススタディ (2)
クリプトコッカス症の診断と治療

柳澤如樹

がん・感染症センター都立駒込病院感染症科

★なお、本シンポジウムは日本エイズ学会の医師認定制度における学会教育研修プログラムです

シンポジウム

■日時：11月30日（月） 17：30～19：00

■会場：第3会場（東京ドームホテル B1F 天空サウス）

シンポジウム 3 （臨床） 認定講習会（看護師）

HIV 看護教育セミナー

座長 島田 恵（首都大学東京健康福祉学部看護学科）
関矢早苗（がん・感染症センター都立駒込病院看護部）

■ミニレクチャー：

城崎真弓
九州医療センター看護部

■コメンテーター：

下司有加
大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター

渡部恵子
北海道大学病院看護部

★なお、本シンポジウムは日本エイズ学会認定 HIV 感染症看護師・HIV 感染症指導看護師制度における学会教育研修プログラムです

■日時：12月1日（火） 16：20～17：50

■会場：第2会場（東京ドームホテル B1F 天空センター）

シンポジウム 4 （臨床）

HCV 重複感染の現状と課題

座長 三田英治（大阪医療センター消化器内科）
古庄憲浩（九州大学大学院感染制御医学分野）

■演者：

S4-1 血液製剤による HIV/HCV 重複感染者の現状
塚田訓久
国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

S4-3 HIV/HCV 重複感染症の現在と将来
四柳 宏
東京大学医学部感染症内科

S4-2 血液製剤による HIV/HCV 重複感染者に対する肝移植
高槻光寿
長崎医療センター外科

シンポジウム

■日時：12月1日（火） 16：20～17：50

■会場：第3会場（東京ドームホテル B1F 天空サウス）

シンポジウム 5 (基礎)	ウイルス標的： 持続感染・潜伏感染	座長	前田賢次（国立国際医療研究センター研究所 難治性ウイルス感染症研究部 レトロウイルス感染症研究室）
			立川（川名）愛（国立感染症研究所 エイズ研究センター）

■演者：

- | | | | |
|------|--|------|---|
| S5-1 | コンピュータ科学が HIV を追いつめる—HIV Gag 研究班の取り組み—
佐藤裕徳
国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター | S5-3 | HIV-1 プロウイルス研究
佐藤賢文
熊本大学国際先端医学機構エイズ学研究センター |
| S5-2 | ウイルス標的としての HIV envelope
吉村和久
国立感染症研究所エイズ研究センター | S5-4 | HIV-1 reservoir : clonal expansion and persistence
高折晃史
京都大学大学院医学研究科内科学講座血液・腫瘍内科学 |

■日時：12月1日（火） 16：20～17：50

■会場：第4会場（東京ドームホテル B1F シンシアノース）

シンポジウム 6 (社会)	ケアと予防の連続性 ～隣接領域の課題への支援の 連続性を踏まえて～	座長	大木幸子（杏林大学保健学部看護学科地域看護学 研究室）
			生島 嗣（ぷれいす東京）

■演者：

- | | | | |
|------|---|------|---|
| S6-1 | 精神科・心療内科クリニックにおける HIV 陽性者の受診しやすい環境づくり
中山保世
東新宿こころのクリニック | S6-3 | HIV 陽性者に対する就労移行支援の現状と課題
村瀬悠紀
就労移行支援事業所ウイングル |
| S6-2 | セックスワーカーやストリートユースなど、複数の脆弱性を抱える当事者への支援
濱中洋平
クライシスサポートセンター nolb | S6-4 | HIV 陽性者や LGBT の人権保障
山下敏雅
LGBT 支援法律家ネットワーク |

シンポジウム

■日時：12月1日（火） 16：20～17：50

■会場：第5会場（東京ドームホテル B1F シンシアサウス）

シンポジウム 7 （臨床/社会）

HIV 感染血友病患者の長期療養
～医療と生活の充実をめざして～

座長

瀧永博之（国立国際医療研究センター
エイズ治療・研究開発センター）
横幕能行（名古屋医療センター
エイズ治療開発センター）

■挨拶：

中谷祐貴子

厚生労働省健康局結核感染症課エイズ対策室

■コメンテーター：

大平勝美

はばたき福祉事業団

■演者：

S7-1 注目しよう！ HIV 感染血友病等患者の
病態と治療

瀧永博之

国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

S7-3 取り組もう！ HIV 感染血友病等患者の
療養支援の可能性

椎名美恵子

訪問看護ステーションみけ

S7-2 はじめよう！ HIV 感染血友病等患者の
医療と福祉の連携

大金美和

国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

S7-4 実行しよう！ HIV 感染血友病患者等の
長期療養支援～QOL 向上と予防的医
療福祉～

柿沼章子

はばたき福祉事業団

■日時：12月1日（火） 18：00～19：30

■会場：第2会場（東京ドームホテル B1F 天空センター）

シンポジウム 8 （臨床） 認定講習会 （医師・看護師）

HIV 感染症治療の手引き

座長

満屋裕明（熊本大学医学部血液内科・感染免疫診療部）
木村 哲（東京医療保健大学）

■演者：

S8-1 What's new

木村 哲

東京医療保健大学

S8-4 日本に AIDS が存在しない日があるか？
Can Japan become an AIDS-free
country?

満屋裕明

熊本大学医学部血液内科・感染免疫診療部/

国立国際医療研究センター/

米国国立癌研究所レトロウイルス感染症部

S8-2 推奨 Regimen の新しい分類

鯉淵智彦

東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科

S8-3 Regimen 変更時の留意点と変更後の
Follow-up

今村顕史

がん・感染症センター都立駒込病院感染症科

★なお、本シンポジウムは日本エイズ学会の医師認定制度ならびに日本エイズ学会認定 HIV 感染症看護師・HIV 感染症指導看護師制度における学会教育研修プログラムです

シンポジウム

■日時：12月1日(火) 18:00~19:30

■会場：第4会場(東京ドームホテル B1F シンシアノース)

シンポジウム 9 (臨床)	HAND	座長	健山正男(琉球大学大学院感染症・呼吸器・消化器内科学講座)
			山本政弘(九州医療センター AIDS/HIV 総合治療センター)

■演者：

S9-1 認知機能障害の診断とトピックス

朝田 隆
東京医科歯科大学

S9-3 HIV 関連神経認知障害に関する疫学研究の動向と J-HAND 研究の進捗状況

小松賢亮
国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

S9-2 HIV 感染からくる認知機能障害 (HAND) と認知症～感染者の高齢化を迎えて～

坂本麻衣子
佐賀大学医学部地域医療科学教育研究センター/
University of California, San Diego (UCSD)/
HIV Neurobehavioral Research Program (HNRP)

S9-4 HIV 感染症患者の認知機能低下と疾患別の特徴

辻麻理子
九州医療センター

ミニレクチャー

■日時：12月1日(火) 18:00~18:30

■会場：第1会場(東京ドームホテル B1F 天空ノース)

ミニレクチャー	HIV 感染者の肝移植	座長	江口 晋(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 医療科学専攻移植・消化器外科学)
	The pros & cons of liver transplantation in HIV		

■演者：

The pros & cons of liver transplantation in HIV

Umberto Baccarani

Liver, Kidney & Pancreas Transplantation Unit, Department of Medical & Biological Sciences,
University Hospital of Udine, Italy

ワークショップ

■日時：11月30日（月） 17：30～19：00

■会場：第5会場（東京ドームホテル B1F シンシアサウス）

ワークショップ 1（社会）

HIV 陽性者の物質や行為への
依存に対する支援を考える
～カウンセリングを中心として～

座長 山中京子（大阪府立大学地域保健学域教育福祉学類）
高田知恵子（秋田大学教育文化学部）

■演者：

WS1-1 薬物依存 HIV 感染者に物質障害治療プログラムを取り入れたカウンセリングが有用であった 1 例

渡邊愛祈

国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

WS1-2 自らを「依存体質」と称する A さんとの
カウンセリング過程

嶋 篤子

滋賀医科大学附属病院

■日時：12月1日（火） 14：40～16：10

■会場：第5会場（東京ドームホテル B1F シンシアサウス）

ワークショップ 2（社会）

HIV 陽性者の日本エイズ学会への
参加～スカラシップ・プログラ
ム 10 周年を振り返って

座長 高久陽介（日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャン
ププラス）
生島 嗣（ぷれいす東京）

■演者：

1 これまでの実績と参加者

柿沼章子（はばたき福祉事業団）

大槻知子（ぷれいす東京）

2 スカラシップ利用者の声

3 この 10 年を振り返って

池上千寿子（ぷれいす東京）

大平勝美（はばたき福祉事業団）

長谷川博史（日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス）

伊藤雅治（全国訪問看護事業協会）

ワークショップ

■日時：12月1日（火） 18:00～19:30

■会場：第3会場（東京ドームホテル B1F 天空サウス）

ワークショップ 3（基礎）

微生物学をリードする
Basic Retrovirology

座長 俣野哲朗（国立感染症研究所エイズ研究センター）
櫻木淳一（大阪大学微生物病研究所
ウイルス感染制御分野）

■演者：

WS3-1 HIV-1 RNA 5' 末端配列の逆転写過程
での重要性

増田貴夫

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科免疫治療学分野

WS3-2 癌抑制遺伝子産物 APC による HIV
Gag 前駆体/vRNA 輸送機構の解析

宮川 敬

横浜市立大学医学部微生物学

WS3-3 HIV-1 感染マクロファージが形成する
tunneling nanotubes の意義

橋本倫拓

熊本大学エイズ学研究センター

WS3-4 R5 指向性 HIV-1 mt 感染カニクイザル
による新規エリートコントローラー
モデルの開発

関 洋平

京都大学豊長類研究所人類進化モデル研究センター

WS3-5 ベトナム人 HIV-1 subtype A/E 感染
者コホートにおける HLA-associated
polymorphism の同定

近田貴敬

熊本大学エイズ学研究センター

WS3-6 感染急性期の中和抗体受動免疫による
SIV 持続制御における特異的 CTL 応
答の解析

山本浩之

国立感染症研究所エイズ研究センター

■日時：12月1日（火） 18:00～19:30

■会場：第5会場（東京ドームホテル B1F シンシアサウス）

ワークショップ 4（社会/基礎）

早期発見：
新たな検査手法・技術

座長 加藤真吾（慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室）

■演者：

WS4-1 常設夜間休日 HIV 検査場における受検
者の推移

毛受矩子

四天王寺大学教育学部教育学科保健教育コース

WS4-2 保健所 HIV 検査におけるカウンセラー
配置に関する調査
～保健所職員の視点から～

森 祐子

名古屋医療センター/エイズ財団

WS4-3 ACC に紹介された若年者の HIV 感染
判明に至るまでの受検行動の現状

杉野祐子

国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

WS4-4 全国8都府県の保健所等と郵送 HIV 抗
体検査受検者の特性について

佐々木由理

千葉大学予防医学センター

WS4-5 MSM を対象とした郵送検査の試み

高野 操

国立国際医療研究センター臨床研究試料管理室

ランチョンセミナー

■日時：11月30日（月） 12：10～13：10

■会場：第1会場（東京ドームホテル B1F 天空ノース）

ランチョン セミナー 1

ドルテグラビルの国内臨床経験
について

座長 松下修三（熊本大学エイズ学研究センター）

LS1-1 治療ガイドライン・エビデンスに基づいた HIV 感染症治療

塚田訓久

国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

共催：ヴィーブヘルスケア株式会社

塩野義製薬株式会社

LS1-2 SPR の今後の展望

渡邊 大

大阪医療センター HIV 感染制御研究室

■日時：11月30日（月） 12：10～13：10

■会場：第2会場（東京ドームホテル B1F 天空センター）

ランチョン セミナー 2

長期療養をささえる HIV 診療と
支援～今、私たちが知っておく
べきこと～

座長

今村顕史（がん・感染症センター都立駒込病院
感染症科）

横幕能行（名古屋医療センター
エイズ治療開発センター）

LS2-1 大金美和

国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

共催：鳥居薬品株式会社

LS2-2 小嶋道子

がん・感染症センター都立駒込病院医事課

LS2-3 久野安代

有限会社敬愛ファイナンシャル・プランナー CFP®

■日時：11月30日（月） 12：10～13：10

■会場：第3会場（東京ドームホテル B1F 天空サウス）

ランチョン セミナー 3

Real world での HAND への対
応方法～簡易な神経心理学的検
査の紹介～

座長

立川夏夫（横浜市立市民病院感染症内科）

岸田修二（初石病院神経内科）

LS3-1 iPad 版 HAND スクリーニングバッテ
リーの構築とその有用性

坂本麻衣子

佐賀大学医学部地域医療科学教育研究センター地域包括
医療教育部門/University of California, San Diego,
HIV Neurobehavioral Research Program

LS3-2 HAND 確定診断とは違う、予防に
役立つスクリーニング検査

緒方 稔

熊本大学医学部附属病院血液内科・感染免疫診療部

共催：アッヴィ合同会社

ランチョンセミナー

■日時：11月30日（月） 12：10～13：10

■会場：第4会場（東京ドームホテル B1F シンシアノース） ※同時通訳有り

ランチョン セミナー 4

Defining a role for
“Inflammaging”
in aging HIV patients

座長 白阪琢磨（大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療
開発センター）

LS4 Defining a role for
“Inflammaging”
in aging HIV patients

共催：MSD 株式会社

Alan Landay

Department of Immunology/Microbiology,
Rush University Medical Center Chicago, Illinois, USA

■日時：11月30日（月） 12：10～13：10

■会場：第5会場（東京ドームホテル B1F シンシアサウス）

ランチョン セミナー 5

早期診断・早期治療は予防のかなめ
～未診断 HIV 感染者、梅毒重複
感染者の現状と対応～

座長 今井光信（田園調布学園大学）

LS5-1 未診断 HIV 感染者の現状と対応策

共催：ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社

加藤真吾

慶應義塾大学医学部微生物・免疫学教室

LS5-2 梅毒との重複感染者の現状と当院に
おける対応

天野景裕

東京医科大学医学部医学科臨床検査医学分野

■日時：12月1日（火） 12：10～13：10

■会場：第1会場（東京ドームホテル B1F 天空ノース）

ランチョン セミナー 6

明日から始められる長期合併症対策
～Healthy Aging のために、
今、取り組むべきこと～

座長 今村顕史（がん・感染症センター都立駒込病院
感染症科）

LS6-1 HIV 感染者の高齢化の現状と、
それに伴う問題点

共催：MSD 株式会社

瀧永博之

国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

LS6-2 今、現場でできる合併症対策

今村顕史

がん・感染症センター都立駒込病院感染症科

ランチョンセミナー

■日時：12月1日(火) 12:10~13:10

■会場：第2会場(東京ドームホテル B1F 天空センター)

ランチョン セミナー 7

これからのHIV感染症/AIDSの
治療と予防の行方と展望

座長

満屋裕明(熊本大学医学部血液内科・感染免疫診療部/
国立国際医療研究センター臨床研究セン
ター)

LS7-1 公衆衛生の観点から STR の意義を考
える

共催：鳥居薬品株式会社

松下修三

熊本大学エイズ学研究センター

LS7-2 本邦における HIV 感染者・AIDS 発症
者数の動向と ART の医療経済的解析

尾又一実

国立国際医療研究センター

■日時：12月1日(火) 12:10~13:10

■会場：第3会場(東京ドームホテル B1F 天空サウス)

ランチョン セミナー 8

1日1回1錠で済む抗HIV薬に
よる治療戦略

座長

白阪琢磨(大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療
開発センター)

LS8 1日1回1錠で済む抗HIV薬による
治療戦略

共催：ヤンセンファーマ株式会社

井戸田一朗

しらかば診療所

■日時：12月1日(火) 12:10~13:10

■会場：第4会場(東京ドームホテル B1F シンシアノース)

ランチョン セミナー 9

インテグラーゼ阻害剤の創薬
化学研究から見えてくる
ドルテグラビルの特徴

座長

三浦聡之(ヴィーブヘルスケア株式会社メディカル
アフェアーズ部)

LS9 インテグラーゼ阻害剤の創薬化学研究
から見えてくるドルテグラビルの特徴

共催：ヴィーブヘルスケア株式会社

川筋 孝

塩野義製薬株式会社コア疾患創薬研究所感染症・化学部門
感染症・化学1

ランチョンセミナー

■日時：12月1日(火) 12:10~13:10

■会場：第5会場(東京ドームホテル B1F シンシアサウス)

ランチョン セミナー 10

セルソーターを用いた単一
T細胞解析 (Single T cell
analysis by using cell
sorter)

座長 田中 聡 (日本ベクトン・ディッキンソン株式会社)

LS10 セルソーターを用いた単一T細胞解析
(Single T cell analysis by using
cell sorter)

共催：日本ベクトン・ディッキンソン株式会社

滝口雅文

熊本大学エイズ学研究センター/
熊本大学国際先端医学研究機構・拠点施設/
Nuffield Department of Medicine,
University of Oxford

イブニングセミナー

■日時：11月30日（月） 19：10～20：10
■会場：第1会場（東京ドームホテル B1F 天空ノース）

イブニング セミナー 1

HIV 感染症と Aging

座長 松下修三（熊本大学エイズ学研究中心）

ES1-1 Aging と長期合併症

照屋勝治

国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

ES1-2 The intersection of serious non AIDS events and “Inflammaging” in older HIV infected patients

Alan Landay

Department of Immunology/Microbiology,
Rush University Medical Center Chicago, Illinois, USA

共催：MSD 株式会社

■日時：11月30日（月） 19：10～20：10
■会場：第2会場（東京ドームホテル B1F 天空センター）

イブニング セミナー 2

多様化する治療の選択肢
～あなたなら、どう選ぶ？

座長 湯永博之（国立国際医療研究センター
エイズ治療・研究開発センター）

ES2-1 内藤俊夫

順天堂大学医学部総合診療科

共催：鳥居薬品株式会社

ES2-2 村松 崇

東京医科大学病院臨床検査医学科

ES2-3 西島 健

国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

■日時：11月30日（月） 19：10～20：10
■会場：第3会場（東京ドームホテル B1F 天空サウス）

イブニング セミナー 3

2015年にプロテアーゼ阻害剤
(PI) をどのように考えるか？

座長 満屋裕明（熊本大学医学部血液内科・感染免疫診療部）

ES3 2015年にプロテアーゼ阻害剤（PI） をどのように考えるか？

立川夏夫

横浜市立市民病院感染症内科

共催：ヤンセンファーマ株式会社

イブニングセミナー

■日時：11月30日（月） 18：40～20：10

■会場：第4会場（東京ドームホテル B1F シンシアノース） ※同時通訳有り

イブニング セミナー 4

アジアのなかの日本～MSMを
めぐる予防啓発と国を超えた連携、
ツーリズム～

Japan in Asia: HIV preven-
tion, regional networking,
and travel among MSM (men
who have sex with men) in
Japan and Asia

座長

市村 宏（金沢大学医薬保健研究域医学系ウイルス
感染症制御学分野）
生島 嗣（ぶれいす東京）

■コメンテーター

David Cooper

The Kirby Institute, University of NSW, Sydney, Australia

ES4-1 HIV and HIV policy for MSM in
Asia Pacific

Midnight Poonkasetwattana
APCOM

ES4-3 The HIV Prevalence, Risks,
Behaviors among MSM in China

Lv Fan
China CDC

ES4-2 Epidemiology and Preventive
policy of HIV infection for MSM in
Taiwan

Yi-Ming Arthur Chen
Kaohsiung Medical University

ES4-4 HIV and HIV policy for MSM in
Tokyo

Kohta Iwahashi
akta

共催：鳥居薬品株式会社

■日時：11月30日（月） 19：10～20：10

■会場：第5会場（東京ドームホテル B1F シンシアサウス）

イブニング セミナー 5

進化する日本のHIV感染症の
診療
～今の診療、どうしてますか？～

座長

今村顕史（がん・感染症センター都立駒込病院
感染症科）

ES5-1 横幕能行

名古屋医療センターエイズ治療開発センター

共催：ヴィーブヘルスケア株式会社
塩野義製薬株式会社

ES5-2 井戸田一朗

しらかば診療所

ES5-3 山中 晃

新宿東口クリニック

認定講習会一覧

日時	時間	会場	セッション	テーマ
11月30日(月)	17:30~19:00	第2会場	シンポジウム2(医師)	日和見感染症と悪性腫瘍のマネジメント
11月30日(月)	17:30~19:00	第3会場	シンポジウム3(看護師)	HIV看護教育セミナー
12月1日(火)	18:00~19:30	第2会場	シンポジウム8(医師・看護師)	HIV感染症治療の手引き

第5回世界エイズディ・メモリアル・サービス

■日時：12月1日(火) 18:40~19:30

■会場：第1会場(東京ドームホテル B1F天空ノース)

第5回世界エイズディ・
メモリアル・サービス ~生命(いのち)をつなぐ~

■企画者：

生島 嗣、佐藤郁夫ほか(ぶれいす東京)

HIV 感染症薬物療法認定・専門薬剤師講習会

■日時：12月1日（火） 15：50～17：50

■会場：第1会場（東京ドームホテル B1F 天空ノース）

HIV 感染症
薬物療法認定・
専門薬剤師講習会

チーム医療における薬学的
アプローチの検討

座長

菊池 嘉（国立国際医療研究センター
エイズ治療・研究開発センター）
吉野宗宏（姫路医療センター薬剤科）

■オーガナイザー：

増田純一

国立国際医療研究センター薬剤部

■演者：

矢嶋敬史郎

大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター

村松 崇

東京医科大学病院臨床検査医学科

小松賢亮

国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

クロージング・リマーク

■日時：12月1日（火） 19：30～19：40

■会場：第2会場（東京ドームホテル B1F 天空センター）

クロージング・リマーク

岡 慎一

国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター